

うごくうごくわたしのおもちゃ

～ざいりょうのつかい方を考えよう～

校種・学年	小学校・第2学年	教科等	生活科
時間・学期(月)	10時間・後期前半(11月)	副読本	P11
準備等	写真資料、容器包装プラスチック類、家庭との交流の場		

1 わらい
 身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりして、遊びや遊びに使うものを工夫して作り、その面白さや不思議に気づき、みんなで楽しむことができるようにする。その際、材料として使用する容器包装プラスチック類や再生資源ゴミとして焼却することが地球温暖化に繋がることに気付かせる。

2 伸ばしたい資質・能力

- 身近な材料(資源)が、地球温暖化を引き起こしていることへの気づき。
- 材料を生かしたおもちゃを思考・表現する力。
- 自分達が、地球温暖化を防ぐためにできることを考える力。

3 指導計画(全10時間)

時間	主な学習活動・内容等
2	○おもちゃ作りの計画を立てる。(材料集め)
5	○地球温暖化の現状に触れ、もってきた材料(資源)を生かしたおもちゃを作成する。
1	○もっと工夫した遊び方・動かし方を考える。
2	○おもちゃを使ってみんなで遊ぶ。(1年生との交流)

4 本時の学習指導(本時 2/10)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○おもちゃ作りのために、集めてきた材料を紹介する。	★P11「ごみの処理に必要なエネルギー」 ごみの量が増えることで、処理等に使われるエネルギーも増え、地球温暖化が進むことに気付かせる。
15	○資料や写真を活用し、地球規模の課題に触れる。 ・個人やグループでの材料観察 ・全体で材料(資源)の把握	
15	○自分が作るおもちゃの計画を立てる。	
10	○どのような材料が、どのくらい必要か考えて、ワークシートにまとめる。	



5 他教科等とのつながり	6 社会とのつながり
○3年生 国語「くらしと絵文字」	○家庭と連携した材料集め ○熊谷市の資源ごみの量 ○環境に配慮した資源の種類

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 家庭の協力を得て材料集めをすることで、学習がより深まる。
- 副読本を活用することで、日常生活の中で地球温暖化を促進させてしまう場面があることに気付かせ、おもちゃの材料を大切に使う意識をもたせる。
- 学習したことを基に自分たちでできることを選択・判断させるために、自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 環境教育を行うことで、身近な問題であることに気づくことができた。
- 身のまわりにある、たくさんの資源をごみとして捨ててしまっていることに気づいた。
- 資源として、再利用できる材料があることを知った。
- 熊谷市のごみの量を知ることができた。

9 研究協議の内容

- 資料活用の方法や場面が正しかったか。
- 本時に紹介した以外にも、様々な資源があることを紹介するとよかった。
- 生活科のおもちゃ作りと関連させた授業作りによって、環境問題を身近に感じることもできた。